

報道関係各位

2014 年 6 月 19 日

公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン

東松島市における公園整備事業 宮城県の平成 26 年度都市緑化功労者として表彰されました

子ども支援専門の国際組織である公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンⁱ(理事長:上野昌也 / 専務理事・事務局長:千賀邦夫、以下 SCJ)は、宮城県石巻市、東松島市において、2011 年 8 月より、子どもが安心・安全に遊び・学び・成長する場づくりのひとつとして、公園整備事業を行っています。

2014 年 6 月 18 日、SCJ は、東松島市における公園整備事業をご支援いただいたサウジ・アラビアン・オイル・カンパニーⁱⁱ(社長兼CEO:カーリッド A. アルファレ、以下サウジアラムコ)、株式会社プレナスⁱⁱⁱ(代表取締役社長:塩井辰男、以下プレナス)とともに宮城県の平成 26 年度都市緑化功労者^{iv}として表彰されました。本事業の特徴は、行政、企業、NGO の三者が地域の子どもの大人とともに、社会における自らの役割を果たしつつ、手を取り合って被災地の子どもの安心・安全な場の提供に取り組んだ点です。

SCJ では、子どもたちが遊び、学び、成長できる安全な環境づくりを目的として、2011 年 8 月より、宮城県石巻市、東松島市においてご支援いただいた企業とともに 9 か所の公園整備事業を実施してきました。特に、石巻市や東松島市の一部の公園においては、「公園のことは、公園でよく遊んでいる子どもたちが一番よく知っているはず」という理念から、子どもたちが公園整備プロセスやオープニングイベントへの参加等で積極的に関わることができるような支援を行い、公園整備のプロセスを通して直接地域の復興に関わり地域に対してより愛着を持てるよう、また、子どもたちが地域で役割を持つことで更に主体的に地域に参加していくことを目指しています。

今回の表彰は、東松島市の推薦により、SCJ がサウジアラムコやプレナスと共に実施した東松島市の 5 つの公園整備事業が対象になり、当日の表彰式において、本事業は「都市公園の整備に率先尽力した」と評されました。

地域の子どもの大人の声の公園整備事業に取り入れることの重要性を広く発信し、また、子どもの声を事業に取り入れるための手法を広く皆様に知っていただきたく、取材・記事掲載のお願いをお送りする運びとなりました。ぜひともご取材いただきますようお願い申し上げます。



※事業の詳細は次ページ以降をご参照ください。

■SCJによる公園整備事業 要旨

東日本大震災の影響で、公園や広場が壊滅的な状態となったり、仮設住宅が建設されることで子どもの遊び場が減少。これを受け、SCJは子どもの権利の視点から、子どもが安全安心に遊ぶことができる場づくりとして公園整備事業開始。

● 東松島市における公園整備事業(2013年2月～現在)

- 東松島市赤井地区 南新町公園 遊具設置事業 (2013年5月完成)
- 東松島市矢本地区 下町公園 遊具設置事業 (2013年5月完成)
- 東松島市小野地区 ミニ公園 No.71 遊具設置事業 (2013年5月完成)
- 東松島市赤井地区 南赤井公園 遊具設置事業 (2013年5月完成)
- 東松島市大塩地区 新山公園 子どもの声を取り入れた公園整備事業 (2014年4月完成)

● 石巻市における公園整備事業(2011年8月～2012年12月)

- 石巻市鹿妻地区 鹿妻第5公園 子どもの声を取り入れた公園整備事業 (2012年4月完成)
- 石巻市鹿妻地区 さくら公園 子どもの声を取り入れた公園整備事業 (2012年5月完成)
- 石巻市蛇田地区 蛇田団地北公園 子どもの声を取り入れた公園整備事業 (2012年11月完成)
- 石巻市大橋地区 大橋南公園 子どもの声を取り入れた公園整備事業 (2012年12月完成)

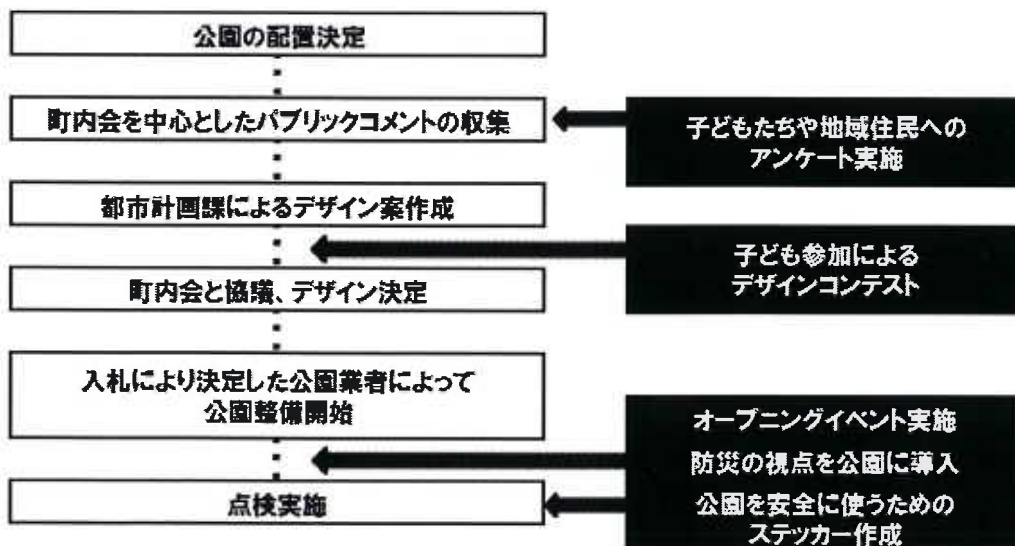
※石巻市については、ユニリーバ・ジャパン・ホールディングス株式会社の協力により、2011年8月より、4つの公園整備事業を行いました。

■子どもの声を取り入れた公園整備事業のユニークな点

SCJの公園整備事業では、通常の公園整備事業のプロセスに、地域の子どもや大人の声を反映させる取り組みを導入しました。

<通常の公園整備事業のプロセスに子どもの声を反映させるための取り組み>

白枠:通常の公園整備事業の流れ、黒枠:SCJの取り組み



① アンケート

「公園ではどんな遊びをしているの?」「なぜ〇〇公園に行く人が少ないの?」といった質問で、子どもたちの公園利用状況や、公園に対して望んでいることを聞き出しました。子どもたちからは「トイレ・屋根付き休憩所があるといい」「みんなが楽しめるアスレチック系遊具があるといい」といった声が上がりました。

② 子ども参加によるデザインコンテスト

アンケートを基に作成した公園デザイン案を、学校で子どもたちが投票したり、地域のイベント時に地域の子どもや大人が投票する機会を設けたりして、子どもたちの声が公園のデザインに反映されることに。子どもたちは最終デザイン案を選ぶことで、「自分たちの公園」といった意識が高まります。

③ オープニングイベント

1) 子どもたちが公園整備に参加したことを確認する、2) 新しい遊具を理解する、ことを目的に実施されました。ゲームやアクティビティを通して、遊具や防災設備の目的や利用方法を考え、理解しました。

④ 防災の視点を公園に導入

石巻市の公園では、防災掲示板や防災ベンチ(収納縁台)も設置し、防災ベンチには、地域の子どもや大人の意見に基づいて決定された寝袋、救急セット、ロープを収納しました。

⑤ 子どもの声を取り入れたステッカー

遊具の危ないところを子どもたちがみつける機会を設定。大人が危ないと思わないところも、子どもは危険と感じていることがわかり、子ども目線の注意喚起ステッカーを作成しました。通常の注意喚起文に多い「～しない」といった「否定語」を避け(なぜ禁止なのかを併記しないと子どもたちの理解を促すことにつながらないという考えから)「ぬれているとすべるよ!」「まわりをみてね」といった文言にしました。

■ 参考

セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン 東松島市における公園整備事業関連ブログ

● 東松島市

◇ みんなでつくろう! 東松島市での公園づくり(2013.12.18)

http://www.savechildren.or.jp/scjcms/sc_activity.php?d=1338

◇ みんなでつくろう! 東松島市での公園づくり②(2014.05.01)

http://www.savechildren.or.jp/scjcms/sc_activity.php?d=1498

◇ 新しい遊具が入ったよ!! 東松島市での公園づくり(2013.06.17)

http://www.savechildren.or.jp/scjcms/sc_activity.php?d=1154

● 石巻市

◇ 「きれいで安心して遊べる公園がほしい」～石巻での公園づくり最終回～(2012.12.25) ※全 6 回

http://www.savechildren.or.jp/scjcms/sc_activity.php?d=1033

i 公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン(SCJ)

セーブ・ザ・チルドレンは、国連に公式に承認された子ども支援専門の国際組織です。日本をふくめ、イギリスやアメリカなど、30 のメンバーが、約 120 の国と地域の子どもたちを支援しています。セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンは 1986 年にセーブ・ザ・チルドレン世界連盟の一員となりました。日本国内では東日本大震災後に「子どもの保護」「教育」「子どもにやさしい地域づくり」の分野を中心に、海外ではアジアやアフリカを中心に「保健・栄養」「教育」などの分野で子どもとともに活動を実施しています。

参照: <http://www.savechildren.or.jp/>

ii サウジ・アラビアン・オイル・カンパニー(サウジアラムコ)

東松島市の新山公園整備資金を提供していただいたサウジアラビア王国の国営石油会社です。サウジアラビア王国は東日本大震災直後、サウジアラムコを通じ日本に 2000 万ドル(16 億円)相当のLPガス(液化石油ガス)を寄贈、仮設住宅居住の被災者に提供しました。またサウジアラムコが岩谷産業株式会社と共同で 2009 年に設立した「サウジアラムコ岩谷産業緊急災害時LPガス支援基金」により、カセットコンロやカセットボンベが緊急支援物資として被災地に提供されました。この東日本大震災復興支援の一環として、SCJ の公園整備事業にご協力いただきました。

iii 株式会社プレナス(プレナス)

プレナスは 1980 年に食の分野に参入。2014 年 5 月末現在、全国で持ち帰り弁当のブランド「Hotto Motto(ほっともっと)」を 2,707 店舗、定食レストラン「やよい軒」を 257 店舗展開しています。プレナスは、2011 年 4 月 15 日から、全国の「ほっともっと」における弁当 1 食の販売につき 1 円を被災地に寄付する「一食一円キャンペーン」を実施し、SCJ を含む 3 つの東日本大震災支援団体に寄付を行ってきました。この東日本大震災復興支援の一環として、SCJ の公園整備事業の東松島市における 4 つの公園の遊具設置にご協力いただきました。

iv 都市緑化功労者表彰 ※宮城県ホームページより抜粋

都市緑化功労者表彰は、本県の都市緑化等における活動を推進するため、都市緑化の推進及び都市公園等の整備、保全又は美化に関し、特に著しい功績のあった民間の団体又は個人に対して宮城県知事の感謝状を贈呈し、一層の都市緑化活動の普及を図ることを目的としています。

参照: <http://www.pref.miyagi.jp/release/ho20140613-3.html>

【本件に関する問い合わせ先】

公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン 東京都千代田区内神田 2-8-4 山田ビル 4 階

担当: 松永有加 / 携帯: 080-2568-3144 / メール: matsunaga.yuka@savechildren.or.jp

TEL: 03-6859-0011 / FAX: 03-6859-0069 / URL: <http://www.savechildren.or.jp>